

◆優秀賞（愛知商業高校 土屋 文音さん）

キャッチコピーとトイレのモチーフがマッチしており、図書の内容にもよく合っている。扉が開くという変化はよくあるが、閉じた状態のシンプルさを、開いた中身が補っており、うまく使い分けていると言える。色遣いと全体デザインがやや平板ではあるが、シンプルながら丁寧に作られている。

◆優秀賞（有馬高校 旭 琴音さん）

キャッチコピーが素晴らしい。書名すら書いていないが、POP が商品の横に置かれることを考えれば、逆に自然と商品（書籍）に誘導するものと思われる。言葉遣いもほどよくくだけている。デザイン自体はシンプルであるが、それがまたキャッチコピーの勢いを生かしていると言える。POP の王道と言える構成である。

◆優秀賞（岐南工業高校 新川 陽平さん）

イラストのテーマは課題図書のデザインを援用しているが、「伏線」と虫眼鏡は独自である。各項目と虫眼鏡をつなぐ紐が伏線を暗示しており、課題図書の「伏線がすべて回収される」という評価にも合っている。程よく立体感があり、またしっかりとした造りで、美しくまとまっている。書名の下のアnderラインや、各項目の字体の変化など、細部も考えられている。

◆優秀賞（神戸星城高校 井上 結愛さん）

殺人現場の現場検証を表すデザインのみで構成されたシンプルな作品であるが、このアイデアは他に殆ど見られなかった独自性の高いものである。黒地に白い文字・イラストのモノトーン、そして黄色線のワンポイントと、効果的な色遣いになっている。現場検証の番号札が抑え目な立体感を醸し出し、これも効果的な秀作である。

◆優秀賞（土岐商業高校 加藤 那菜さん）

鬼の口の形と、色遣いが目を引く作品である。大胆な形でありながらうるささを感じさせないのはセンスの良さであろうか。牙の出っ張りや白、口の中の水色がアクセントとなって変化がつけられている。書名の文字も全体の雰囲気にもマッチしている。キャッチコピーはないが、デザインが秀逸な作品である。